

議会だより

えりも

No. 8

平成26年2月1日

12月定例町議会の概要
複合施設検討の概要
一般質問 学力向上について

2P
3P
5P

12月定例町議会

12月20日に第5回定例会が開催され予算の補正など、提出された議案を慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。また、一般質問では5人の議員が登壇し町政に関する諸課題について質問しました。

平成25年度

予算の補正

- 庁舎管理費 33万円
- 調理室の修繕料
- 地域活性化基金積立金 4497万円
- 来年度事業の財源とする積立金
- 大和共同作業所修繕料 61万円
- 窓枠の補修等
- 高齢者対策費 298万円
- 高齢者世帯1世帯1万円を上限に灯油購入費用の支援
- 機械器具費 192万円
- 最終処分場の水処理施設に係る機器購入
- 風の館修繕料 171万円
- 屋外造形物の補修経費
- エソシカ解体施設修繕料 45万円
- 残渣保管冷凍庫の修繕
- 水産業振興費 36万円
- えりもの魚PRリーフレットの増刷
- 商工振興費 550万円
- プレミアム商品券の20%割増分と事務費を負担
- 住宅改修工事補助金 220万円
- 当初600万の予算をつけていたが好評のため追加計上
- 学校給食管理費 63万円
- 各学校厨房内の修繕費を計上
- 診療所工事請負費280万円
- 小児科・内科待合室等の改修工事

専決処分

10月16日に北海道に接近した台風26号被害による補修経費

- 9月16日に北海道に接近した台風18号被害による補修経費
- 森林基幹道土砂撤去復旧作業 149万円
- 岬地区土砂流出防止事業補助金 110万円
- 宇遠別線土砂撤去費用 182万円
- チャツナイ川決壊補修 59万円
- 陸上競技場倉庫屋根修繕料 25万円
- 庁舎窓修繕料 129万円
- 町営住宅屋根修繕料 54万円
- 近浦生活館屋根修繕料 25万円
- 岬保育所屋根修繕料 66万円
- キャンプ場看板修繕料 84万円
- アベヤキ川護岸工事 99万円
- 東洋・大和地区海岸保全事業 66万円

議件番号	議 件 名
報告第7号	定例出納検査の結果報告について
報告第8号	合同所管事務調査の結果報告について
承認第12号	専決処分の承認について 一般会計補正第5号
承認第13号	専決処分の承認について 一般会計補正第5号
議案第8号	税外諸収入金の徴収に関する条例の一部改正に伴う関係条例の整理
議案第19号	消費税法等の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議案第20号	非常勤特別職の報酬等に関する条例の一部を改正
議案第21号	職員の給与に関する条例の一部を改正
議案第22号	社会教育委員会条例の一部を改正
議案第23号	平成25年度えりも町一般会計予算の補正第7号
議案第24号	平成25年度えりも町国民健康保険特別会計予算の補正第2号
議案第25号	平成25年度えりも町簡易水道会計予算の補正第2号
議案第26号	平成25年度えりも町診療所特別会計予算の補正第3号
議案第27号	平成25年度えりも町下水道特別会計予算の補正第2号
議案第28号	平成25年度えりも町介護保険特別会計予算の補正第2号
同意第2号	えりも町教育委員会委員の選任
同意第3号	えりも町固定資産評価審査委員会委員の選任
承認第14号	所管事務調査について

複合的な機能をもつ 公共施設の 新設検討について

***経過**
複合施設の検討は、平成23年6月に町長から企画課等に指示があり、課長による検討会議や職員の意見を募集しました。

***現段階での考え方**

・検討ポイント

①老朽化による維持管理費の増大が懸念される公共施設の今後の在り方を議論

②住民サービスの向上と効率的な管理・運営のための公共施設の複合化の検討

・町の計画

総合計画においては、具体的な施設の建設には言及していません。同計画の社会教育施設の整備で「福祉センターの大規模改修」の必要性があげられています。

また、スポーツ施設の整備の項目では老朽化に対応した体育施設及びレクリエーション施設の整備を主要施策として記述しています。

・複合施設のイメージ

職員の意見や提案から見え
てくるのは、「福祉センター



複合施設の検討に係る既存公共施設

施設名	築年数	構造	耐年
高齢者センター	25年	木造	20
庶野コミュニティセンター	24年	鉄コ	70
えりも岬レストハウス	44年	鉄コ	70
福祉センター	43年	鉄コ	70
郷土資料館	22年	鉄コ	70
水産の館	32年	コ	35
温水プール	39年	鉄コ	70
町民体育館	32年	鉄コ	70

のもっている機能をさらに拡大
・充実させた施設」ということ
になります。

- ①図書館機能と生涯学習の場を一体的に創出し、町民が集う自由な広場
- ②日常生活において町民が気軽に立ち寄れる「癒しの空間」
- ③災害時の拠点施設としての機能

***今後の手順**

①イメージ段階での公共施設に対する町民の意向の把握
平成26年度のアンケート実施

- ②複合施設の検討
- ・計画における位置づけ
- ・既存施設の現状課題の把握
- ・基本構想
- ・基本計画と実施設計

※基本構想から設計までの期間
3〜4年

第4回子ども議会

11月29日に第4回子ども議会が開催され、11人の子ども議員による一般質問が行われました。緊張の面持ちで町政に対する純粋な疑問を質問しました。



- ・スポーツ公園のライト設置について
- ・子供が楽しく遊べる公園の設置について
- ・ゼニガタアザラシによる食害について
- ・庶野千平地区の街灯設置について
- ・えりも高校吹奏楽部設置について
- ・高齢者福祉とボランティアについて
- ・災害対策と物資の備蓄について
- ・商店活性化と買い物負担軽減について
- ・老朽施設の暴風対策について
- ・特色ある観光イベントについて 等

一般質問

大坂庄吉議員



医療

国保診療所について

問

小児科医師の受け入れ態勢は万全か

答

診療室の改装などを順次進めている

問

大坂議員 医療は地域の住民が安心して暮らすために必要不可欠なものであります。今回の医師招聘にあたり医師用住宅の整備も行われました。新年度より新たに小児科の業務が始まり医師3人体制が始まることは住民として大変ありがたいことだと思

答

診療所事務長 診療室については内科の横にもう一つ診療室があり、その診療室を使うための準備を進めています。処置室は現在の処置室を使います。待合室については感染症などのリスク軽減のために壁を設置し分けることとして

います。医療機器は小児用吸引器を要望されておりましたので準備したいと考えています。その他は小児科稼働後、順次必要と思われるものを準備したいと考えています。小児科開始時には、看護師13名の予定です。看護体制の状況を注視しながら対応して

- ① 診察室や処置室、医療器具の対応はどうか。
- ② 医療スタッフは十分か。
- ③ 土日祝日直の協議はどのようになっているか。
- ④ 新年度の取り組みは。

医療機器は小児用吸引器を要望されておりましたので準備したいと考えています。その他は小児科稼働後、順次必要と思われるものを準備したいと考えています。小児科開始時には、看護師13名の予定です。看護体制の状況を注視しながら対応して



えりも小学校公園脇に建設された小児科医師用住宅

いきたいと思います。週末宿日直については道内の4名の医師と協議をしているところである。そのあいた部分の年間10日から15日程度を所長・副所長・小児科医で対応していただく事になっております。平日代替医師についても常時2名配置できるようになることから依頼しない方向で考え、代替医師分、宿日直医師旅費分程度の経費削減になる予定です。新年度の改善方針としては小児科と内科に分散されることから待ち時間の解消が期待できます。また乳幼児の予防接種についても庶野診療所と協議し小児科医師に行ってもらおうように進めております。

自治

老人クラブの名称について

石川昭彦議員



問

クラブに入会しやすい名称を考えてみては

答

地域によっては自主的に変えている

問

石川議員 高齢化が進む中で高齢者が楽しく健康で長生き

問

石川議員 クラブの自主性を尊重したいというの理解は

を、孤独感から開放されるなど、老人クラブの果たす役割はますます重要であると思えますが、「老人」という言葉に抵抗感があり、新会員の入会の妨げになっているのではないかと。会の発展のために老人クラブという名称を変えてはどうか。

答

町長 ちょうど老人クラブが発足した

答

保健福祉課長 町内の老人クラブには現在404名の方が

答

町長 私が担当部署

会員となっており、その果たしている役割は非常に大きいものであると認識をしております。町としては老人福祉法により、補助金の交付や講師の派遣などをして支援をしておりますが、名称の変更については、それぞれのクラブで

におりました。町としては指導や命令という事にはありませんが、自主的に変えていくので、その流れに期待をしたいと思います。親友会(本町) 睦会(岬) 共和会(目黒) 長生会(近笛)

手塚裕警議員



教育 学力向上について

学力低下問題の具体的対策は

基礎問題は80%習得を目標に進めたい

問

手塚議員 11月5日に発表された道教委の全国学力学習状況調査結果報告書を見ると北海道の学力は依然として低い状況が続いていることがわかります。

全国学力・学習状況調査の問題の正答率が低いということは、「習得することが望ましい」と国が判断した学習内容」が他県や道内他町の子どもたちと比べて身に付いていないということです。

この「厳しい現実」と真摯に向き合い、あらゆる取組を改善し、えりもに住む子どもたち一人ひとりに、「社会で自立して生きていくのに必要最低限の学力」を保障しなければなりません。

都道府県平均正答率(小学6年)

順位	都道府県	4科目平均
1	秋田	70.18
2	福井	67.40
3	石川	66.60
:	:	:
4 5	北海道	58.93
4 6	滋賀	58.75
4 7	沖縄	57.88

①当町の義務教育の最終的な成果である中学3年生においては、北海道でも最低クラスの管内平均を大きく下回っている。この危機的な事実を受けて町教委はこれからのような対応をするのか。

②予算的な理由により隔年になっている町実施の学力テストを毎年おこなうべきでは。また、向上心のある子どもには英会話スクールや塾代補助等の経済援助も必要では。

答

③携帯電話の使用や昆布期間中の遅刻も学力低下の要因と考えられるが保護者への協力をどのように行っていくのか
④中高一貫教育の弊害である「教育の中だるみ」を防ぐ手だては。
⑤町長は学力低下問題をどのように考えているか。

教育長 臨時校長会において①学習規律の強化②板書の工夫③ノート指導④家庭学習の徹底と授業の活用⑤教科書に返る⑥課題提示とまとめの明確化⑦家庭の協力、この7点を徹底するという事で申し合わせました。

短期的には中学3年の国語と数学に関して個別指導の強化。長期的には道教委と協議しながら、えりも小学校を学力向上の指定に予定し、その他の学校を協力校にして学力の向上を図る。他には放課後学習や朝学習の推進なども考えております。

具体的な目標数値としては基礎問題に関しては80%程度。応用力は50%から60%

%を掲げて行う予定であります。次に町で行っている「標研式学力テスト」に関してはそれをどう活用するかという事が重要です。各学校の活用状況を把握し、今後毎年実施すべきか検討したいと思っております。経済的バックアップに関しては現在も、漢字検定や英語検定、数学検定などで半額補助を実施しております。その他の塾代などは公教育の中での責任と性格上自己負担でと考えております。

保護者の理解に関しては次年度に向けて再度各学校の状況を把握するとともに家庭の理解を図るよう指導していきたいと思っております。中高一貫教育のデメリットといわれる部分については、校種間の望ましい接続を図り、改善していかねければならないと考えております。正式な入試はありませんが、そのような形式を採ったり、高校の先生に中学校へ出向いて授業をしてもらったりする中で学習意欲を育んでもらえたらと考えています。

町長 安倍政権の教育再生実行会議において地方公共団体の教育の最終責任を首長にとり、議論がなされておりますが、今の段階では学力低下問題について私から見解を述べるのは如何なものかと思っております。教育に関しては教育長の答弁に一定の理解をもっているという事でご理解願います。

道内科目別平均正答率と順位(小学6年)

順位	国語A	国語B	算数A	算数B
1	檜山上川 (62.3)	石狩 (48.3)	檜山 (78.2)	石狩上川 (55.6)
2	胆振 (61.9)	上川 (47.7)	石狩 (76.0)	留萌 (54.5)
:	:	:	:	:
1 3	オホーツク (55.8)	オホーツク (41.5)	オホーツク (72.4)	オホーツク (49.4)
1 4	日高 (51.2)	日高 (39.6)	日高 (68.8)	日高 (47.3)

参考：道教委全国学力学習状況調査結果報告書

高松亮裕議員



福祉

診療所前駐車場に塀の設置を

玄関前の突風対策は進んでいるか

問

更なる調査や関係機関との協議を行いたい

高松議員 今年3月、同僚議員から「診療所玄関前の突風対策を」という一般質問がありました。

あると考えますし、景観や交通安全上の問題も解消されると思いますが、お考えは。

答

診療所事務長 強風時の診療所周辺の状況についてですが、11月から3月にかけて、沢町方面から強い風が吹き上げます。

町側の答弁では、「強風対策として防風柵の設置を検討したことがありますが、周辺の景観や交通安全上の問題があり、実現には至っていないが、その他の方法を検討してまいりたい」とのことでありました。

厳冬期を迎えようとする今、町民の期待に応えるべくしっかりと現状を把握し、安心して通所できるように真剣に検討をしていただきたいと思います。

沢町方面から吹き上げてくる風が特にひどいようなので、その方角に塀を設置するだけでも相当の効果が

このような状況の中で、塀の高さや強度の問題、又、塀を設置することで風向きが代わり歩道上にさらに強い風が吹く可能性等、さまざまな問題・課題が想定されます。

定されますので、しっかりと本格的な調査、関係機関との協議を行っていきたいと思っておりますのでご理解願います。



強風が吹きつける診療所玄関前

教育

学力向上のための対策は

学力問題は改善されてきているのか

問

小学校においては改善されてきている

答

高松議員 平成25年度全国学力・学習状況調査の結果を見ますと、全道平均は全国平均より下回り、さらに日高管内平均は全道平均を大きく下回っております。

当町の場合、小学6年生では、全道平均とほぼ同等か一部全道平均を上回っている教科もありますが、中学3年生では、管内平均をも大きく下回っているという状況であります。

①当町の学力は平成19年度から改善されているのか。

- ②学力が低い原因をどう分析しているのか。
- ③学力向上のために、今まで以上の取り組みが必要かと思うか。
- ④都市部と地方の学力の格差を是正する働きかけが必要ではないか。
- ⑤「教育向上対策委員会」の構成員は。

答

教育長 ①まず学力では、小学校では24・25年度で国語

Aで全道平均を上回り、算数Aで24年度まで全道との差が狭まってきています。

中学校では、21年度から徐々に全道との差が狭まってきていましたが、25年度は悪い状況でした。学習状況は、小学校では「授業以外の1日当たりの学習時間」「予習時間」「復習時間」ともに23年度から1・6〜3倍と増加しています。中学校では少しずつ割合があがってきています。また、「家庭学習 学年×10分」では、特に中学生の時間が達成されておらず大きな課題となっていました。25年11月の調査で大きく改善されたとの報告を受けております。

科目別平均正答率と比較 (中学3年)

	国語A	国語B	数学A	数学B
秋田	81.9	76.4	68.9	47.5
全国平均	76.4	67.4	63.7	41.5
全道平均	76.0	66.2	62.3	39.1
日高平均	71.5	59.3	55.7	33.0
えりも	69%未満	57%未満	54%未満	31%未満

参考：えりも町教育委員会だより

②意欲と学び方が十分育っていない。つまり、授業の組み方や定着を図る学校での繰り返し学習が十分ではないこと、家庭学習の時間や内容が十分でないことなどが大きな要因とらえております。

③授業では、「考える場の工夫や定着を図る工夫」、家庭では「意欲をもたせる言葉かけと環境づくり」が必要と考えます。

④都市部と当町を考えた場合、私の中学校長時代の経験から、市内では競争率が厳しい条件の下で、多くの子供は将来の夢や希望を抱いて高校選択をしていることこの進路についての目的意識の違い、指導では授業に対する厳しさの有無、塾を含めた家庭学習の時間や継続の違いなどを感じております。

したがってその具体的対策として、子供に夢と希望をもたせる方策、授業では磨き合うこと、家庭学習では家庭の理解と先生方の力に負うことが必要と考えております。

⑤「教育向上対策委員会」の構成員は、小学校5校、中学校、高等学校から

一般の先生方それぞれ1名、委員長は校長先生1名、副委員長は小中高の教頭先生3名の合計11名で構成され、平成23年度から本格的に動き出しています。以上5点について申し上げますが、私は当町の教育の一層の充実を図る絶好の機会と受け止め、授業改善と家庭の協力のさらなる第一歩と考え、全身全霊、学力向上に取り組んでまいりたいと考えております。

教育 教育について

近藤一郎議員



問

学力状況調査の学校別公表を行うべきでは

学校別公表に関しては慎重に判断したい

問

近藤議員 11月に北海道教育委員会発表の25年度全国学力学習状況調査の偏差値を見ますと、日高管内は、小学6年生が偏差値16・6で管内別14位最下位、中学3年生が偏差値33・5で管内別13位となっています。

小学6年生は、全道平均を上回った国語A以外3科目は日高管内平均レベル。中学3年生は軒並み管内を下回るという結果でした。また、生徒質問紙調査の自尊意識、規範意識の項目で「自分にはよいところがあると思う」という回答にお

いて、「ある」と答えた生徒が全国平均に比べて16%も低いという結果について大変危惧すべきところだと思えます。このような結果をふまえた上での町の見解をお伺いします。

全国学力テスト
文部科学省が全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に19年度から実施。昨年は4月24日に道内の中学校の1764校、約9万1千人を含む全国の3万1457校219万人を対象に実施。教科は国語と算数・数学で、基礎的知識を問うA問題と応用力をみるB問題に分けて出題する。

答

教育長 教育委員会としては、各学校が現状分析をしっかりと行うとともに、具体的な授業改善と家庭学習の定着を柱に、家庭も含めて組織的に取り組むことが必要であることを校長会議や教頭会議で強く指導したところであります。

次に、新聞等にも取り上げられていますが、全国学力テストの成績に関して、学校別、市町村別の成績が教育委員会の判断で公表が可能になりますが、町の対応をお伺いします。

授業改善については、教育局の指導主事訪問や研究指定を含めた授業研究をとおして精力的に取り組んでいるところではあります。平成26年度は北海道教育委員会への指定を希望することや、道立教育研究所の授業力向上の事業も積極的に活用するなどして進める所存

学校別成績公表についての意向調査 (文部科学省調べ)

	学校だけでなく、当該学校を設置している教育委員会も公表できるようにする	従来通り、学校だけが公表できるようにし、教育委員会は公表できないようにする	その他、無回答
都道府県教育委員会	40.4%	42.6	17.0
市町村教育委員会	17.0	79.3	3.7
都道府県知事	44.4	24.4	31.1
市町村長	33.7	61.8	4.5
学校	19.8	77.5	2.7
保護者	44.5	51.9	3.7

であります。市町村教委及び学校が行う公表は、保護者や地域住民と学校とが、課題や危機意識を共有できる内容や方法で行うことが大切であると考えております。したがって、単に点数のみの公表は、序列化や過度の競争につながることも予想されることから、本年度の調査結果の公表については、教育委員会便りなどを通しての概要報告にとどめました。次年度についても十分配慮し、国や道教委の定めた方針を踏まえて適切に対応していきたい。

平成25年10月31日実施

調査

総務文教常任委員会

委員長 川村 一治

委員 石川 昭彦

産業民生常任委員会

委員長 上野 勝廣

委員 成田 一人

議長 渡部 泰

副委員長 平野 正男

笹谷 廣喜 高松 亮裕

副委員長 大坂 庄吉

手塚 裕警 近藤 一郎

消防デジタル無線整備事業

本事業は、平成28年5月31日までの使用期限となっているアナログ方式の消防無線について、4カ年計画でデジタル方式の消防無線に更新整備を実施するものである。平成24年度分として既に基本設計は終えており、本年度においては実施設計を、26・27年度の2か年でパンザマスや基地局等整備工事を行い、平成28年4月1日から運用を目指す事業である。通信エリアは、えりも支署基地局と岬基地局の2つの基地局で、近浦から庶野、上歌別地区まで町内の広範囲をカバーすることとなるが、本通信エリアから外れる目黒地区については、衛星携帯電話が1台設置され運用されることとなる。

今回のデジタル化に合わせて、各分団の消防車全てに移動無線局を設置するとともに、各分団にデジタルトランシーバー型簡易無線機を4台ずつ配備する計画となっているが、この簡易無線機は、災害対応力の向上に役立つものである。また、無線だけでなく、消防庁舎内の電源を賄うための自家発電機も新規導入されることとなり、防災拠点施設としての機能が一層高まることとなる。

消防救急無線は、火災等の災害現場において、指揮命令、各種情報交換等に活用され、消防業務上重要な位置にあるので、その性能を維持するためにも、計画的な更新、修理等について万全を期すよう対応願いたい。

今回のデジタル化に合わせて、各分団の消防車全てに移動無線局を設置するとともに、各分団にデジタルトランシーバー型簡易無線機を4台ずつ配備する計画となっているが、この簡易無線機は、災害対応力の向上に役立つものである。また、無線だけでなく、消防庁舎内の電源を賄うための自家発電機も新規導入されることとなり、防災拠点施設としての機能が一層高まることとなる。



平成28年4月1日からの運営を目指して整備が行われる

スポーツ公園公衆トイレ

新築事業

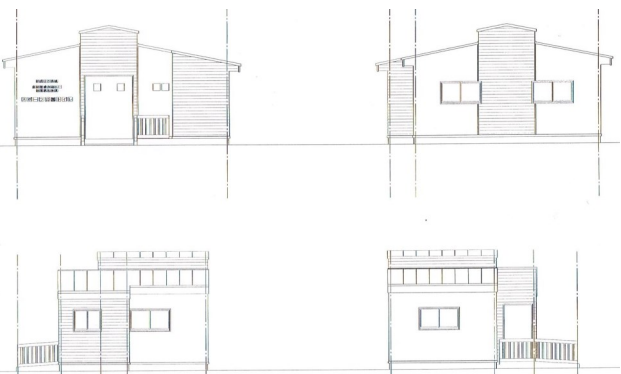
本事業は、森林整備加速化・林業再生事業の補助を受けて建設する事業である。

木造平家建て、延べ床面積が33・5㎡で、地元産の木材を使用し、外壁と内装の一部は羽目板で仕上げられる。男子トイレには、小便器が3個、大便器が1個、女子トイレには大便器が2個、多目的トイレには、大便器が1個と子供のオムツ等が交換できるようベビースhiftが1基設置されることとなる。また、スロープの設置とフェンスの一部を門扉に改修する外構工事も計画されており、イベント会場内からスムーズに公衆トイレに行けるように、イベント来場者の利便性にも配慮されたものとなる。

工期は、平成26年2月28日までを予定としているようであるが、工事にあたっては、事故のないように十分に注意を願いたい。



3月完成予定のスポーツ公園公衆トイレ



事務管理所

本町墓地の造成

当該墓地が、核家とすする事業であり、族化の進展等による次年度以降に法面を墓地需要の増加に伴って整備し、順次供給もい、貸し出し可能区画が行っていく計画のよ面数が残りわずかかのであるが、当該造状況にあることか成地は小高くなつてら、これまで駐車場おり、小さな子供等として使用していたが誤って転落するこ場所にとり、懸念され、簡易新たな墓地を造成するものである。

面積は600㎡、総区画数を40区画、危険防止策の実施について検討願いたい。



面積600㎡総区画数40区画を新たに造成

教員住宅整備

現在、町内の教職員住宅の管理戸数は67戸でそのうち15戸が空き家となつている状況にあるが、産休代替職員など一時的な職員数の増加も視野に入れ、弾力的な運用を図るためにも予備住宅が必要と思われる、既存の保有空住宅数は適当と考えられる。

また東洋、えりも岬庶野の3つの地区の教職員住宅において、汲み取り式のトイレを平成24年度から年次計画

今後においても、各教職員住宅の処分期間及び経過年数等を考慮し、立替えや町への移管など計画的な管理に向けて努力願いたい。

教員住宅建設事業は木造平家建て、延べ床面積が145・74㎡で1棟2戸の長屋住宅である。

により水洗化に改修しているようであるが、住環境の早期改善に向けてできるだけ早い事業の完了を望むものである。



えりも小学校裏に建設された教員住宅

学校別教員住宅空き状況

学校名	住宅番号	経過年数 (処分年数)
笛舞小	6	35 (45)
	111	19 (24)
	125	17 (24)
えりも小	33	39 (45)
	22	41 (24)
東洋小	51	41 (24)
	52	40 (24)
	53	37 (45)
	54	30 (45)
えりも岬小	61	39 (45)
	64	29 (45)
庶野小	107	20 (24)
	120	18 (24)
えりも中	35	38 (45)
	9	20 (24)

この人に聞く

えりも町立東洋小学校 校長
えりも町校長会 会長

小泉 卓真



紋別郡雄武町出身、東京学芸大卒。家族は妻と子供2人。趣味はスポーツ、特にテニソン。好きな食べ物はスープカレー。好きな言葉は「教育の原点はへき地にある人は父親。教育は授業で勝負する」尊敬する人は父親。

：教師になったきっかけは

父は小学校の教師でした。教職という大変だけれどやりがいのある仕事をしていた父の姿を見て教師になろうとおもった。

：東洋小学校の印象は

小さな学校だけに児童・教員が1つの家族のようにアットホームな雰囲気があります。また、保護者・地域の方々が非常に温かく

教育活動に対する理解と協力で支えられている学校という印象をもちました。

：複式教育で独自に取り組んでいることは

複式の授業では、1時間に2つの学年を教えるため、効率的でポイントを押さえた指導が求められています。

：授業の効率化と学習効果を高めるための取り組みは？

：これからの子供たちにどんな教育をしていきたいですか？

全学年がIpadやICT機器を活用した授業に取り組んでいます。

一言で言うなら、生きる力を身につけさせることです。全ての子供たちが、生き生きと活動し存在感と充実感をもてる教育を進めていきたいと思っています。

(取材・大坂)

編集後記

一年の計は元旦にあり。正月は新年の計画を語り合いその時抱いた抱負を互いに披露してはいかがでしょう。

元旦の早朝まだ夜が明けやらぬうちから、人々が列を作り、参拝を待つ。近所の鎮守様は、さほど大きくないながらも、地域の総代の方々から御神酒が振る舞われ、今年も穏やかで健やかな一年が過ぎますようにと祈ります。年もあらたまりましたが、本年も広報誌をご愛読くださいますようお願いいたします。

今月号は12月定例会の中からお届けします。新しい年の記事や取組の御紹介を通じて今年の活動状況を理解していただければと思います。

(大坂)

議会の動き

- 11月29日 子ども議会
- 12月13日 議会運営委員会
- 12月20日 第5回定例会
広報特別委員会
- 12月24日 日高東部消防組合議会
日高東部衛生組合議会
- 1月12日 広報特別委員会
- 1月22日 広報特別委員会
- 2月6日 日高交通安全共済組合
定例会

表紙写真 大法寺水行

元旦午前零時に大法寺境内にて行われている水神祭も今年で11回目を迎えた。今年の参加者は住職のほか五十嵐庸公さん、近藤一郎さん、竹重寛さん、林下英さんの5名。海上安全や震災復興など願い事を叫びながら水をかぶった。参加は誰でも可能とのこと。新年を清々しく迎えたい方は挑戦してみてください。



議会広報特別委員会委員

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 石川昭彦 |
| 副委員長 | 高松亮吉 |
| 委員 | 大塚裕喜 |
| 委員 | 笹谷裕警 |